

臨床研究に関するお知らせ

【研究課題名】

エピルビシンの投与方法変更による静脈炎予防効果の検討

【内容】

乳癌に対するフルオロウラシル／エピルビシン／シクロホスファミド（FEC）療法は術前・術後補助化学療法として汎用される化学療法の一つです。しかし、エピルビシン（商品名：ファルモルビシン注射用、エピルビシン塩酸塩注射用「NK」）の副作用である静脈炎がしばしば問題となります。

そこで金沢大学附属病院では2009年11月よりエピルビシン（商品名：ファルモルビシン注射用、エピルビシン塩酸塩注射用「NK」）の投与方法を変更しました。今回、投与方法の変更による静脈炎の予防効果を明らかにすることを目的として調査研究を実施します。

【対象】

2008年1月から2012年5月の期間中に、当院外来化学療法室でFEC療法を実施された方が対象となります。

【方法】

カルテ情報の調査を行い、静脈炎の発生頻度を調査します。

この研究では対象となる方に直接治療などを行うことはありません。過去の診療情報、検査結果を用いた研究であり、本研究に参加することによる患者さんの利益はありません。不利益として個人情報の漏洩の危険性があります。

この研究で得られた結果は、学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、対象となる方が特定できないようにし、個人情報などプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

この研究を行うに当たり、対象となる方が費用を負担することはありません。また謝礼もありません。

この調査の対象となる方にご協力いただけるかどうかは自由意思です。もし、お断りになられたとしても、治療などの点においてあなたの不利益になるようなことはありません。

参加を希望されない場合には、2012年5月31日までに金沢大学附属病院薬剤部 崔（さい）までお知らせください。

2012年4月
金沢大学附属病院薬剤部
研究代表者 崔 吉道
電話 076-265-2046（直通）